

尾道市立大学芸術文化学部日本文学科における学士課程教育に関する基本方針

1 アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

日本文学科は、以下のような入学者を求めています。

- 従前の教育課程等において十分な国語の力を身につけた人
- 知的探究心をもち、日本語・日本文学を深く研究していきたい人
- 対象を冷静に観察し、論理的に考察することができる人
- 文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- 文章読解力と文章表現力を高め、その力を発揮していきたい人

2 カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

日本文学科は、次のように教育課程を編成し、実施します。

- 1年次に必修科目として概論と基礎演習を置き、日本語・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法を修得させる。
- 2年次以降の選択科目として専門演習を置き、少人数の双方向教育により自ら学び・考える力を養成する。
- 多種多数の専門教育科目を各年次に配置し、日本語と日本文学を中心とする学習の拡充と深化を図る。
- 専門教育科目と連携させた多様な教養教育科目を各年次に配置することで、幅広い視野と豊かな人間性を養成する。

3 ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

日本文学科は、本学科の教育目標に到達した、以下の要件を満たす学生に対して「学士(日本文学)」を授与します。

- 所定の期間在学し、学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して基準となる単位数(124単位)を修得した人
- テキストの精読や実地調査と関係資料の精査をもとに、自らの見解を明確に提示した卒業論文を提出し、その審査と口頭試問に合格した人(文芸創作もこれに準じる)
- 豊かな人間性と高い倫理観をもち、本学科で身につけた、自ら問題を発見し解決する知恵と力をもって積極的に社会に貢献できる人